

# 山梨県立高等学校における職業教育の方針

山梨県教育委員会

本県では2040年までに本県が目指すべき姿「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を実現するため、新たな県政運営の指針となる「山梨県総合計画」が策定された。また、「山梨県教育振興基本計画」を踏まえ、今後の県立高等学校のあり方や新しい高等学校づくりの基本的指針となる「山梨県立高等学校長期構想2020」も策定された。これらの計画及び構想に基づき、今後の山梨県立高等学校における職業教育に関する方針を定める。

## I 職業教育が目指すもの

産業構造が大きく変化する中で、求められる人材は大きく変化しており、それに対応した人材育成を図るとともに、若者の県外への流出を防ぎ、県内への定着を図るために、県内企業への就職を促していく必要がある。

このため、既存の産業人材育成のための教育機関等を十分に活用する中で、産業界との連携などにより、地域の産業に求められる技術等を習得する機会を提供し、地元で活躍する人材の育成を進めるとともに、山梨で働く魅力を周知し、県外ではなく県内で就職することや、Uターンを促すことなどにより、必要な人材の確保を図る。

## II 職業教育のねらい

- 1 産業界との連携・協働や方針に基づく事業の具体化により、専門的な知識・技能を身に付け、地域や機械電子産業界等から求められる人材が育成・輩出されるよう努める。
- 2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材、すなわち、グローバルに活躍する人材やイノベーションを牽引する人材を育成する。
- 3 学科の垣根を越えた横断的な学習機会を提供し、産業界と連携しながら、コミュニケーション力豊かな地域のリーダー（ローカルリーダー）となる人材を育成する。

## III 学科における取り組み方針

### 1 全学科共通

- (1) コミュニケーション力、一般教養、忍耐力等の職業人としての素養や、チャレンジ精神の育成
- (2) 県内中小企業等への担い手（事業承継）や起業家の育成のための実践的職業教育
- (3) 職業教育の研修機会の充実による教員の資質と技術指導力の向上（企業と連携した研修の充実）

### 2 普通科・専門教育学科・・・専門教育学科は理数科・文理科・英語理数科・探究科など

- (1) キャリアパスや就職を見据えた教育活動、ローカルリーダーやグローバルに活躍する人材及びイノベーションを牽引する人材の育成を見据えた教育活動を検討する。
- (2) 生徒が自らの具体的な将来像を思い描けるように上級学校と連携した教育活動に努め、地域資源の活用や地域との連携に積極的に取り組み、求められる人材となるために必要な知識・能力を磨く教育を展開する。

### 3 専門学科・・・総合学科における相当する系列も含む

#### (1) 専門学科共通

- ア 産業構造の変化にも対応できる視野や課題解決力、適応力等を身につけるため、学科横断型学習の展開の推進を図る。
- イ 地域における「ものづくり」についての興味を高めることができる教育を展開する。
- ウ 県内産業界と連携し、地域経済を具体的かつ直接的に学ぶ機会の充実を図り、県内産業への理解を促進するだけでなく、県内産業を支える職業人としての意識や態度を醸成する。

- エ 将来、社会の中で、活かすことができる実践的な資格・免許の取得を推進する。
- オ 総合制高校の専門学科にあっては、他学科と連携した教育活動や学校行事を展開する。
- カ 義務教育段階におけるキャリア教育と連携し生徒の理解を促すとともに、専門学科における教育について周知・啓発の方策を検討し中学校の教員や保護者に理解を促す。

## (2) 農業・・・果樹園芸・森林科学・造園緑地・食品化学など

- ア 地域の農業関係者や農業大学校との連携の下、体験実習等を通じて、マーケットの中において実践する農業のあり方を自ら考えていく力や起業する力を醸成する。
- イ AI やIoT等の先端技術を活用した農業経営や林業経営を視野に入れた教育の展開を検討する。
- ウ 地球温暖化の抑制に貢献する4パーミル・イニシアチブ<sup>\*1</sup>の取り組みや、六次産業化による加工品の開発など、農業の基礎から応用までの理解や技術の修得を推進する。

<sup>\*1</sup> 土壌中へ炭素貯留することにより大気中のCO<sub>2</sub>濃度を低減し、地球温暖化を抑制する国際的な取り組み

- エ 専業農業者の育成のみならず、将来的に兼業で農業に従事することも視野に入れた多様な人材育成を行う。
- オ 蓄積が進む森林資源を活用し、水源のかん養、土砂流出防備等の森林の公益的機能を将来にわたって維持していくため、林業の担い手となる人材を育成する。

## (3) 工業・・・機械・電気・建築・土木・電子・環境化学など

- ア 製造業・建設業を始め、本県の代表的産業を支える実践的技術者を育成する。
- イ 技能・技術のみならず、持続可能な発展の視点も含めた課題解決力、創造的能力、応用力等、新しい時代に必要となる資質を持った人材を育成する。
- ウ 今後の先端技術、産業構造、就業状況等の変化、あるいは時代の求める人材を踏まえ、製造現場・建設現場での生産性の向上などを視野に入れた教育の展開を検討する。
- エ インターンシップや企業実習、デュアルシステムの取り組みをさらに進め、実践的技術を高める。
- オ 地域のインフラ整備や、災害時における「地域の守り手」として、県民生活や経済活動を支える大きな役割を担う建設産業の人材を育成する。
- カ 工業に関する資格取得を推進し、県内産業の様々な分野で活躍できる人材を育成する。

## (4) 商業・・・商業・情報ビジネスなど

- ア 地域産業と連携した教育（インターンシップなど）や、地域資源を活用する商品開発等の実践を通して、起業家精神を育むとともに、グローバル化の進展や社会の変化へ適応し、課題解決を主体的に行う資質を育成する。
- イ 資格、検定の取得推進に当たっては、様々な分野への就職に適応できるよう、幅広い分野の実践的な資格を視野に入れるとともに、それらを十分に活かすことができる職業意識の醸成や、コミュニケーション力、適応力、情報収集及びその活用能力を高めるための実践的な教育を展開する。
- ウ 総合制高校では、他の産業分野の学科との連携を強化し、学科横断的な方法により、商業分野の知識・技術を実践的な場面で活用できるようなカリキュラムを整備する。

## 4 総合学科・・・生活・福祉・上記学科に相当する系列など

- (1) 県内産業界への安定的な人材輩出や看護・介護・保育・小学校教諭等の福祉系・教育系の人材育成のため、時代に即した系列改編や系列横断型学習の充実等を図るほか、キャリア教育をさらに強化する。
- (2) 普通科目を基軸とする総合学科では、地域の学習ニーズ、進路のニーズを踏まえ、進学・就職いずれも見据えた系列を展開する。